

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 19 年 12 月 3 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3873500536		
法人名	有限会社 すまいる		
事業所名	グループホーム すまいる		
所在地	伊予郡砥部町北川毛1442番地16	(電話)	962-1333
管理者	池田 正代		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 19 年 10 月 16 日	評価確定日	平成 19 年 12 月 5 日

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然豊かで静かな場所に建つホームである。玄関の出入りは自由で、家族や近所の人々が気軽に訪問できる。居間は明るく、利用者は家庭的な雰囲気の中で自分のペースを守りながら「我が家」のように過ごしている。運営者、ホーム長、管理者及び職員が全員で理念に沿ったケアを行い利用者の日々の暮らしを支えていることが、利用者の表情からもうかがえる。食事は栄養バランスに注意し利用者に合わせて調理方法を工夫している。またホームは町内会に加入し、地域の一員としての役割を担ったり、地域行事にも参加している。地域の中にしっかりと根付いて

## 【質向上への取組状況】

**▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目：外部4)**  
 前回評価を受けて、地域への啓発のためにホーム便りを発行する、居室の整理整頓を今までどおり心がける、金銭は事務所管理とし買い物時は自分で支払いできるよう支援する、排尿チェック表を作成する、事故報告書の様式を変更する、栄養バランスに気をつけた献立をたて、水分摂取について把握する、などについて検討・改善に取り組んでいる。

**▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部4)**  
 自己評価については職員に各項目について意見を書いてもらい、管理者がまとめている。自己評価をすることによる気づきも多くあり、サービスの向上に活かすようにしている。

**▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部4, 5, 6)**  
 運営推進会議では外部評価の改善項目、虐待についてのアンケート、行事報告・予定などについての意見交換を行い、サービスの向上に活かしている。会議には利用者の家族、地域住民、町担当者の参加がある。また議事録はホームで自由に閲覧できるようにしている。

**▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部7, 8)**  
 重要事項説明書にホーム側の苦情申立先を明記しており、苦情処理のために講ずる措置の概要を明示している。また家族の意見は訪問時に聞いたり、運営推進会議でも意見を出してもらっている。できれば家族が意見、不満、苦情等を第三者へも伝えることができるように公的窓口の記載を望みたい。

**▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目：外部3)**  
 ホームは町内会に加入し、地域の一員として清掃活動や地域行事(祭り、運動会など)に参加しており、また地域の方にホーム行事にも参加してもらっている。地域の幼稚園児や利用者の友だちが訪問してくれたり、近所の人がおすそ分けなども持ってきてくれている。近所の喫茶店にも時々出かけている。

## 【情報提供票より】 (平成 19 年 9 月 10 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	20 人	常勤 8 人, 非常勤 12 人, 常勤換算 6 人	

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷金	有( )円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合償却の有無	
食材料費	朝食	350 円	昼食 350 円
	夕食	500 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (3) 利用者の概要 (平成 19 年 9 月 10 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	2 名	要介護 2	4 名
要介護 3	7 名	要介護 4	4 名
要介護 5	1 名	要支援 2	名
年齢	平均 81.3 歳	最低 65 歳	最高 90 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	あり	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

—サービス向上への3ステップ—  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム すまいる
(ユニット名)	1階
記入者(管理者)	
氏名	池田 正代
評価完了日	平成 19 年 9 月 10 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居者が当ホームを生活の場としてとらえ、家庭で過ごされていた時と同じ安らぎを持ち暮らししていく為の理念を掲げています。		「将来の自分（自分の家族）が入居したくなるグループホームを目指す」
			(外部評価) 利用者が地域において家庭的な環境の中でその人らしい暮らしを続けることを支えるために「将来の自分（自分の家族）が入居したくなるホームを目指す」という、ホーム独自の理念をつくり実践している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員個々に名刺大の理念を掲げたカードを常に持ち歩き、またホール内の目の届く所に貼り出す等して意識を高めるようにしています。		
			(外部評価) 理念は玄関や事務所、ユニット内に掲示しており、職員、利用者、来訪者はいつでも見られる。また職員の名札の裏には理念が書かれており、理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関ホールやホール内でのケア目標の貼り出し及び事務所に於いて気軽に閲覧できるようにしており、ホームだよりや運営推進委員会議でも議題に取り上げ、理解して頂けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域行事に参加したり、当ホームの行事にお誘いしたりする事で交流が深まっていると思います。		今ではご近所の方が家庭菜園の野菜をおすそ分け下さったり、休みの日には近所の子供達が遊びに来て下さいます。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域で行われる清掃や行事に参加しています。  (外部評価) ホームは町内会に加入し、地域の一員として掃除などの役割を担ったり、地域行事(祭り、運動会など)に参加し、ホーム行事にも参加してもらっている。また地域の幼稚園児や利用者の友だちが訪問してくれたり、近所の人がおすそ分けなども持ってきてくれている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 今現在は、当ホームの利用者の支援が精一杯で、地域高齢者についてはあまり話し合えていないのが現状ですが、これからそういう機会も増やしていければと思います。まず運営推進会議で委員からの話しを聞くことから取り組みたいと思います。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の実施により良い意味での意識の向上に繋がっていると思われれます。また評価の問題点に関して職員会でも積極的に取り上げ、その改善方法等を話し合い迅速に対応しています。  (外部評価) 運営者、ホーム長、管理者及び職員は評価の意義をよく理解している。全員で自己評価に取り組み、外部評価の改善項目については職員全員で取り組み、運営推進会議でも意見を聞いてサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に参加して下さる方々は、当ホームの報告やケアの取り組みに熱心に耳を傾けて下さり、また的確なアドバイスを頂いています。それを常に職員会でも話し合い、ケアの向上に向けて取り組んでいます。  (外部評価) 会議は外部評価の改善項目、虐待についてのアンケート、行事報告・予定などについて意見交換を行い、サービスの向上に活かしている。会議には利用者の家族、地域住民、町担当者の参加がある。また議事録はホームで自由に閲覧できるようにしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 二ヶ月に一度の市町村主催の連絡会に参加させて頂いたり、町の介護相談員の方の訪問受け入れも毎月行っています。  (外部評価) 2か月に1回、町主催のケアマネジャー連絡会に参加している。また、毎月町の介護相談員の訪問を受け入れており、利用者の話を聞いてもらい、相談にも応じてもらっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修に参加したりと積極的に取り組んでいます。		現在制度を利用されている利用者がいらっしゃいます。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部研修会等の参加や内部研修やアンケート調査を実施し、防止に努めています。		H19年4月24日サービス向上研修会参加 「高齢者虐待」

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ご家族には十分な説明、話し合いをし、納得して頂いていると思います。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 月に一度の市町村の相談員の方との話し合いの中で利用者の希望や不満を聞き出して頂いたり、スタッフと個人的に会話を持つ事で利用者の思いをくみ取るよう心がけケアにあたっています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会にこられた時には近況を報告したり、月に一度近況報告及び金銭面での詳細を送付しています。  (外部評価) 毎月の請求書と共に利用者の日々の暮らしぶりを家族に送っている。また家族の訪問時に話をしたり、状況に応じて電話連絡も行っている。またホーム便りを発行し、ホームの様子や行事等を伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 当ホーム内での苦情委員会の設置をご家族に明示し、ケア方針の説明等も個別に行う機会を設け、その中で意見交換するようにしています。  (外部評価) 重要事項説明書にホームの苦情申立先を明記しており、苦情処理のために講ずる措置の概要を明示している。また家族の意見は訪問時に聞いたり、運営推進会議でも意見を出してもらっている。	※	家族が意見、不満、苦情を第三者へも伝えることができるように公的窓口の記載を望みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会で意見や提案を聞く機会を作ったり、運営者と年に一度の個別面談を行う中で多くの意見を取り上げ、反映出来るよう努めています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ホーム長及び管理者が毎日フリーで動き、緊急時にも対応出来るようにしています。また外出時や行事に合わせてパート職員の確保をしています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 配慮には努めていると思いますので今の所利用者へのダメージは無いように思います。  (外部評価) 職員はユニット内で固定になっており、今のところ職員の異動はない。散歩や行事への参加などは、両ユニットの職員一緒に出かけるため、利用者とは顔馴染みになっている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会への案内は随時行っております。職員も積極的に参加しています。認知症及び介護関連の研修だけではなく、救急救命方法や感染症予防対策等の研修にも毎年参加しております。  (外部評価) 職員の休憩室に研修会の案内が置いてあり、職員は希望を出して参加している。研修費用は運営者が負担している。参加した職員は研修内容をミーティングなどで伝え、共有することでサービスの質の向上につなげている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 2～3ヶ月に一度同業者との会合を開いて、空室情報の交換や事故報告等を行っております。他のグループホームを知るためにスタッフの交換派遣研修を定期的に行っております。  (外部評価) 町内のグループホームとの交流があり、研修会に参加したりお互いに研修しあっている。また松山市のケアマネジャーの研修会にも参加し、同業者との交流をはかり、サービスの向上につなげている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 時折個人面談を実施し仕事上の困っている事や悩みを聞き運営者が対応出来ることは即時対応しております。年に3～4度慰労会や懇親会・忘年会等を開催しスタッフ同士のコミュニケーションを図り人間関係の構築に努めております。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 各資格取得に向けたバックアップ（受験費用の援助等）を行っております。今後は開設5年目を迎え、個々に対する勤続表彰や良いアイデアを提案したスタッフへの表彰等も実施していきたいと思っております。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 出来る限り本人との面接を行い、利用されるまでにも話を傾聴したり、コミュニケーションをとれるよう努めています。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族とも面接時や契約時十分な話し合いを行い、意向等を確認しながらケアの方向性を決めて、説明にあたるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 十分なアセスメントを行い本人の現状を把握するとともに、自立支援に向けてのさまざまなサービス案を検討しています。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人との十分なコミュニケーションのもとにその意向を説明させて頂き、納得して利用して頂けるようお茶の時間を一緒に他の利用者と過ごして頂く機会を作ったり、体験宿泊して頂く等、工夫しています。  (外部評価) 本人や家族がホームに来られる場合には来てもらい、ホームでの生活を見てもらったり、過ごしてもらおうようにしている。また入院中の人にはホームから訪問している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食事やおやつ等、日々の生活の中で一緒にテーブルで過ごす時間を常に持ち、色々な会話をしながら利用者の話を傾聴したり、共に笑い、喜び、涙しあえる関係を築いています。  (外部評価) 日々共に過ごしながら利用者の話を聞いたり、職員の話を聞いてもらったりしている。食事を一緒に作りながら下ごしらえや調理方法を教えてもらったり、ケアをするだけでなく利用者の豊かな経験を教わることで、共に支えあう関係づくりをしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の面会の時には、食事介助や散歩等を一緒に手伝って頂いたり、外出レクも出来る限り一緒に過ごして頂けるよう連絡しお誘いしています。		今後も家族と過ごす時間を増やして行けるよう、外出や行事計画を進めて行きたいと思います。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人との会話の中で、家族に対する気持ち等を読み取るとともに、ご家族とも十分に話し合い、認知症ケアに対する理解と協力をして頂けるよう、常に職員及び管理者、ケアマネージャーが橋渡しになっています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者のお友達等馴染みの方が面会にこられた時には、意思疎通の難しい方には、職員が会話の橋渡しをしたり支援をしています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 職員と一緒に会話に加わり意思の疎通の橋渡しをする事で、基本的には皆で仲良く過ごして頂けるよう、一つのテーブルやソファに集まって頂く工夫もしています。また個人の性格を把握し、相性の良い人同士ゆっくりくつろげるような時間、場所にも配慮しています。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 地域密着型になって特に家族とも顔見知りの職員も増え、その後の状況も伺う事も出来たり、行事参加の案内等を送付したりもしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 会話の中から本人の意向や希望を把握し、出来る限りそれに添えるよう、ケアカンファレンスを行い努力しています。  (外部評価) 日々の暮らしの中で話を聞いたり、言葉や顔色、行動などからも把握するようにしている。またカンファレンスでも意見を出し合い、本人の意向に沿うよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族面会時には出来るだけ多くの情報を頂けるように話し合いを十分に持ったり、また回想法等を取り入れる事で、本人からの意思や希望を引き出せるようなケアに取り組んでいます。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 健康管理表や個人別の介護記録等で日々の観察を記録し、それに目を通しながら、ケアカンファレンスでモニタリングや話し合いを行っています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画作成時には家族の希望も事前にお聞きし、常にスタッフ全員でこれまでの経過や問題点の話し合いを持ち、また医療的治療の必要な方には医療関係者との話し合いを持った上で計画案を作成しています。  (外部評価) 本人や家族の要望、職員の気づきや意見も入れ、ケアカンファレンスを行い、本人に合った介護計画を作成している。職員は介護計画に沿ってケアを行い、日々のケアについても一人ひとり記録している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 短期目標に合わせてモニタリングを行うとともに、随時状態変化に応じてケアカンファレンスを行い、新たな介護計画を作成しています。  (外部評価) 定期的な見直しを行い、評価も行っている。利用者の状態に合わせて随時の見直しを行い、ケアカンファレンスを行い、新しい介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個人別の介護記録や日誌への記録、情報交換ノートの活用により、スタッフ全員が目を通し情報共有しています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人の要望や身体的状況に応じて多機能の分野で個別ケアに取り組んでいます。  (外部評価) かかりつけ医の受診及び通院リハビリ、美容院への送迎等を無料で行っている。緊急時に24時間対応可能な医療機関との連携が取れている。また家族の宿泊にも柔軟に対応している。		在宅マッサージやリハビリ通院の介助、衣料品や食料品の買い物に同行したり、また美容院への送迎等様々なニーズに対応しています。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 警察、消防、地域消防団の方には日頃から災害時などの協力をお願いしています。また外出レクの際にはボランティアさんに協力して頂いています。防火訓練の実施や町の文化祭・小学校の運動会等への参加を行っております。		春のお花見レクには毎年、4～5名のボランティアさんが参加して下さり、一緒にお弁当を食べながら楽しくお話をされています。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネジャーやサービス事業者同士の交流は常にあるので、その体制は整っています。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営者やケアマネジャーが何度か訪問したり、運営推進委員としても来所して頂き、常に相談できる関係を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ホーム担当の主治医がいる為、本人及び家族に事前に説明し納得して入居して頂いていますが、長年のかかりつけ医がいる場合は主治医と相談しながら出来る限り本人の希望も大切にしています。  (外部評価) かかりつけ医との連携は取れている。受診の内容や医師の指示、検査の結果は個人の記録にも残されており職員も把握できている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医及び協力医療機関は、心療内科や認知症専門のケアセンターも隣設されており、常に主治医や看護師との連絡や相談が取れるような関係で、ケアにあたっています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護師は往診時、受診時には必ず同行して下さり、利用者の状態も把握して下さっています。また電話や面会での相談も、気軽に出来る関係を築いています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力医療機関は、24時間体制で入院等緊急を要する場合もバックアップして下さっており、また日常的にも情報交換や相談が出来るよう、電話連絡や訪問を行っています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者の体調変化に対しては、早急に受診し主治医と相談の上、主治医、運営者、ご家族同席の元、ご家族に説明を行い、その意向や状態により対応しています。  (外部評価) ホームとして「重度化した場合における対応に係る指針」「看取りに関する指針」を定めている。利用者の状態変化に応じてかかりつけ医と相談し、家族に説明を行い、利用者や家族の意向に沿った対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 常に主治医と相談の上、当ホームで出来る事に関しては、全力で取り組んでいます。		栄養不良の利用者に関しては、経口栄養食の摂取介助、また脱水予防には通院して、点滴施行を行っています。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の施設に移り住む際には、多施設の担当者と何度か話し合いの時間を持ったり、ご家族とも十分に話し合いを持って対応するようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉がけには十分注意し、個人の記録に他の利用者の事を記載する時にはイニシャルにしています。  (外部評価) 利用者に対して同じ目線で対応しており、共に暮らしている雰囲気が伝わり自然な感じである。食後の歯磨きやトイレ誘導もさりげなく行われている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者に合わせて声かけを行い、促しをする時も本人に確認を取ったり、また本人が自分自身で行動できるような場面設定を工夫しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の性格にあった、本人が出来る事を見い出して促しを行います、無理強いをしないように心がけています。また食事や入浴以外の空き時間は、出来る限り本人のペースや希望を尊重しています。 <hr/> (外部評価) 職員は利用者一人ひとりについて把握し、日々の体調にも気をつけ、食事のペースも本人に合わせて見守っており、それぞれの生活のペースを大切にしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 自分で選べる方には本人に任せたり、毎日一緒に洋服選びをしたりと工夫し支援しています。髭剃りや整髪機の支援をしたり、理容・美容は希望があれば送迎もしますが、特に希望が無い場合は訪問美容を利用しています。ご家族と外出・外泊の際に美容院を利用される方もおられます。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を一緒に考えたり、野菜切りや洗い物も手伝って頂いています。また盛り付けにも気を配り、同じ食卓に職員が必ず座り、会話を楽しみながら支援しています。 <hr/> (外部評価) 手伝える人は職員と一緒に楽しみながら食事作りをしている。介助が必要な人には横に座りさりげなくサポートしながら、職員も利用者と一緒に食事している。また後片付けも食器を洗う人、テーブルを拭く人等分担して行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個室に冷蔵庫をおかれ、好みの物を飲食されたり、一緒におやつ作りをしたりと楽しめるよう支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で一人一人の排泄パターンを把握し、失禁をなくすようトイレ誘導しています。	※	数名リハビリパンツやパット使用を布パンツやパットなしに変える事が出来ていますが、これからも失禁等をなくし、トイレで気持ちよく排泄出来るよう支援強化に努めたいと思います。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 設備上の問題から曜日や時間帯は決まっていますが、入浴の順番等はその日の気分や体調により配慮し、くつろいで入浴出来るよう努めています。  (外部評価) 入浴時間は午後からとなっているが、入る順番は利用者の希望にあわせている。入りたがらない利用者には、時間を置いてから言葉かけや対応を工夫して、本人が納得してから入浴してもらっている。	※	音楽を流したり、植物を置く等工夫したいと思います。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 室内温度、明るさ等に気を配り、個々に合わせた睡眠が取れる様、夜間の見廻りも徹底しています。		眠れない方にはお茶をお出ししたり、話し相手になる事で安心して眠れるよう支援しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 生活歴を活かし機能、能力に応じて本人の出来る事をして頂き、今ではそれぞれに役割ができており、外気浴や家事、新聞とりと毎日楽しく過ごせるよう支援しています。  (外部評価) 食事作り、掃除、洗濯物干しなどを職員と一緒にしたり、手作りカレンダーの日めくりや行事予定を書いてもらったり、新聞を取ってきてもらったりと利用者ごとに可能な役割を担ってもらっている。また、習字教室や誕生会、敬老会なども楽しみのひとつであり、ボランティアも受け入れている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の自己管理能力の問題で、ご家族と相談、了承の上で事務所預かりとさせて頂いている方が多いですが、希望により、買い物時、外出レク時等は本人にお金をお渡ししたり、立替の小遣いを持って頂き買い物をして頂いています。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 地域の学校の運動会や地区行事の案内を見て頂き、参加希望者を募ったり、外気浴や散歩に出かけたり、希望によりドライブや喫茶店、買い物に出かける等の選択ができるような働きかけをしています。  (外部評価) 日々の暮らしの中で希望に応じて買い物や散歩によく出かけている。また地域行事に参加したり、家庭菜園や近くの喫茶店に行ったりと外出の機会をつくっている。外には手作りのベンチが置かれており、利用者は外気浴を楽しむなどのんびりできるよう配慮している。	※	これからもより多くの希望に応えられるケアに取り組みたいです。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 墓参りに出かけたと言われた利用者には家族と連絡を取り支援して頂いたり、利用者さんが住み慣れた地域の地域行事に同行して、ご家族にも参加して頂き交流を持って頂けるようにしています。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人からの電話使用の要望はあまりありませんが、希望に応じてホームの電話で取り次ぎ支援を行っています。手紙等の取次ぎや、暑中見舞いや年賀はがきを出したり等の意欲を引き出せるよう支援しています。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 玄関は開放的で家庭的な雰囲気作りに努め、いつでも出入りが出来ます。また訪問の際には好きな場所で過ごして頂けるよう娛樂室も完備し、宿泊もして頂けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 施設内研修にて資料の配布やアンケート調査を実施し、意識を高めるよう徹底して取り組んでいます。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関、ホール入り口共に、日中鍵をかけずドアの開閉の際にはチャイムが鳴る様にしており、スタッフの出入りには必ず声かけをし、常に利用者の居場所確認をしています。  (外部評価) 利用者の自由な暮らしを大切にし、玄関及びユニットの出入り口はいつでも出入りできるようになっていて、鍵はかけられていない。ドアの開閉時にはチャイムが鳴るようになっているが、職員の見守りで十分対応できている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間の声かけや見守りを徹底し、安全確保に努めています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 自立度に応じて鋏や爪切り等の物品を所持されていますが、その他貸し出した物品に関しては、必ず職員間で引継ぎ回収するようにしています。また洗面台等の洗剤等はそれぞれ使用される場所が決まっている為、スタッフ全員が把握し見守りの中で置く場所を決めています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で確認をとり、事故報告書やひやりハットなどのノート及び書類にて全ての職員が共有し、改善防止に努めています。		常に居場所確認、見守り介助を怠らず、誤薬等には職員間の再チェックをし投薬しています。また町の消防署の協力で火災訓練も行っています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的ではありませんが、年に1、2回施設内研修を行ったり、外部研修の参加を実施しています。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に一度、消防署に協力して頂き防災訓練や非難訓練を行っています。また地域消防団、地区役員、ご近所の方への協力も常にお願ひしています。  (外部評価) 年1回消防署の協力を得て防災訓練及び避難訓練を実施しており、消防署には直通で連絡できるようになっている。緊急時の連絡方法も掲示している。また地域の協力を得られるよう働きかけている。	※	地域の協力を得られるよう働きかけているので、今後は地域住民の参加や協力を得た訓練や、地域住民を含めた緊急連絡網及び災害対応のマニュアルの作成を望みたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 入所時は状態に応じてご家族に説明する機会を持ち、了承を得ています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝夕のバイタルチェック、入浴時、トイレ時等の全身観察、異変の早期発見に努め、記録や申し送りにて情報を共有しています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人別の薬管理表をファイルして職員全員が目を通すようにしています。また服薬の状態を記録したり、引継ぎしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事以外にもヨーグルトの摂取や水分補給にも留意しています。また腹部マッサージや体操、散歩等の促しに取り組んでいます。		水分不足に注意し、献立には必ず汁物をつけたり果物や野菜ジュース等も取り入れるよう心がけています。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、能力に応じて見守り、介助しています。週一回義歯洗浄を行い、また舌のケアも声かけ、介助により行っています。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、食事量をチェックし、個々に合わせた料理の提供をしています。水分についてはお茶、その他の飲み物等、飲み残しの無いよう声かけに努め、また入浴後、運動後の水分補給にも留意しています。  (外部評価) 献立は栄養バランス及び水分量を考慮している。調理方法も利用者に合わせて刻み食、とろみ食など工夫している。食事摂取量を記録し、水分量は職員が常に気をつけて不足がないよう配慮している。体重も折れ線グラフにして把握している。糖尿病等の利用者については医師の指導を受けている。	※	今後摂取カロリーや栄養バランスのチェックを行う予定である。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 年に一度、保健所が行う感染症予防対策研修に参加するとともに、その資料を回覧したり、施設内研修を行って意識改革しています。また利用者には嘔吐等が見られた場合、衣類の洗濯は消毒後行うようにしています。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 買物は毎日出かけ、新鮮な物を使うようにしており、残った食材を冷凍する場合は、日にちを記入し早めに使い切るようにしています。また台所用品（組板、ふきん等）は毎日、塩素系消毒しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関は格子の引き戸になっており、その周りには季節の草花や家庭菜園等も植えたりと施設を感じさせない家庭的な作りになっています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 台所は居間と続く対面キッチンになっており、食事支度の音や香りも利用者に届くようになっており、居間の窓からは庭が見え、季節感を味わえます。また廊下やトイレも間接照明で優しい光を取り入れています。  (外部評価) 玄関や居間には季節を感じる装飾が自然に飾られている。居間は明るく、利用者の書が飾られ、畳のスペース、ソファも配置され、利用者は自分の思い思いの場所で過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや長椅子を配置し、畳敷きのコーナーもあり、思い思いの場所で過ごされています。冬場にはコタツを囲み数人で談話されたり等の光景も見られます。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 箆笥や冷蔵庫、テレビ等それぞれが思いの物を持ち込まれ、各部屋毎に個性があると思います。  (外部評価) 居室のドアには利用者に合わせた職員手作りの名札がかけられている。居室内は家庭で使用していたタンスや愛用品、趣味の物、写真、利用者によっては仏壇などが持ち込まれ、その人らしい居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日、日中何度か換気に努め温度調節もこまめに行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 脱衣場、浴槽内、トイレ廊下等に手摺を設置したり、物干しや便座は入居者の背の高さに調節したり、各所に休憩の椅子を配置し、個々の身体状況に合わせたケアに努めています。また浴槽も機能に合わせた一般浴とリフト浴の2種類あります。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の表札やトイレの表示など個々の自立度、見当識にも配慮し、季節感を感じれる工夫をしています。		目の見えにくい方には反転文字を使用した表札を使用したり、見当識に配慮して、日めくりを声かけにて日課にして頂いたり、草花や装飾品で季節感を出しています。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 屋外の庭には何ヶ所かに縁台や椅子を配置し、外気浴を楽しんだり草花を育てたりされています。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらい 評価) 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	普段の会話の中やアセスメントからその意向をくみ取り、一人一人の役割や生活習慣を大切にケアに取り組んでいます。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつ時間や食事時間等、ゆっくり会話しながら過ごすようにしています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事時間、排泄時間、睡眠時間と個々に違い、利用者のペースに合わせて対応しています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分で考え行動できる利用者が増えたり、毎日笑い声が聞こえたり、笑顔で過ごされている事が多いように思います。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の体調や状況に応じて、全ての希望にそう事が出来ない日もありますが出来るだけ買物や季節の行事等外出の機会も作っています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、体調変化に留意し、毎月の往診の他に必要に応じて通院し、医療との連携もとれています。また歩行時、立ち上がり時等の見守りにも留意し、常に居場所確認、安全確認に努めています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の思いを大切に、時には話しを傾聴したり時には声かけしたりその状況に応じて対応しています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会にこられた時には、会話を通じて思いをくみとると共に、ケアの方向性を説明し納得して頂いたり、利用者の日常の様子をお話ししたりする時間を作っている為、ご家族の面会の際には気軽に声をかけて頂いています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	月に数回、習字教室、朗読レク、地域の子供会他ボランティアの方が来て下さっています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	毎回、会議の議題にも熱心な意見を下さり、また運営推進会議の委員の方の中に地区子供会のお世話役をされている方もいることから、子供会の訪問等も増えています。
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の入れ替わりも少なく、長期働かされている職員が増え、コミュニケーションがよくとれ笑顔で仕事している事が多いと思います。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で過ごされる事が多くなり、中には「良くして貰って」とか「私は幸せ」等の言葉を口にして下さいます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	今の所ご家族からの苦情はなく、健康面でも「元気になって安心しました」とか「顔つきが良くなっています」等の言葉を頂けています。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

健康管理全般 ・状態に合わせた排便観察を行い、出来るだけ薬に頼らず自然排便を促すよう、水分補給や腹部マッサージ、腸蠕動運動を促す体操等に取り組むと共に

日頃から散歩や日光浴、食べ物にも留意しています。

・体調に合わせ、足浴、マッサージ、立位・歩行訓練、筋力低下防止、可動域訓練にも力を入れ取り組んでいます。

・感染症予防として、食事前の手洗い・手指消毒の徹底、口腔ケアにも力を入れています。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V.サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
**“愛媛県地域密着型サービス評価”**

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム すまいる
(ユニット名)	2階
記入者(管理者)	
氏名	池田 正代
評価完了日	平成 19 年 9 月 10 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 入居者が当ホームを生活の場としてとらえ、家庭で過ごされていた時と同じ安らぎを持ち暮らししていく為の理念を掲げています。		「将来の自分（自分の家族）が入居したくなるグループホームを目指す」
			(外部評価) 利用者が地域において家庭的な環境の中でその人らしい暮らしを続けることを支えるために「将来の自分（自分の家族）が入居したくなるホームを目指す」という、ホーム独自の理念をつくり実践している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員個々に名刺大の理念を掲げたカードを常に持ち歩き、またホール内の目の届く所に貼り出す等して意識を高めるようにしています。		
			(外部評価) 理念は玄関や事務所、ユニット内に掲示しており、職員、利用者、来訪者はいつでも見られる。また職員の名札の裏には理念が書かれており、理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 玄関ホールやホール内でのケア目標の貼り出し及び事務所に於いて気軽に閲覧できるようにしており、ホームだよりや運営推進委員会議でも議題に取り上げ、理解して頂けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域行事に参加したり、当ホームの行事にお誘いしたりする事で交流が深まっていると思います。		今ではご近所の方が家庭菜園の野菜をおすそ分け下さったり、休みの日には近所の子供達が遊びに来て下さいます。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域で行われる清掃や行事に参加しています。  (外部評価) ホームは町内会に加入し、地域の一員として掃除などの役割を担ったり、地域行事(祭り、運動会など)に参加し、ホーム行事にも参加してもらっている。また地域の幼稚園児や利用者の友だちが訪問してくれたり、近所の方がおすそ分けなども持ってきてくれている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 今現在は、当ホームの利用者の支援が精一杯で、地域高齢者についてはあまり話し合えていないのが現状ですが、これからそういう機会も増やしていければと思います。まず運営推進会議での委員からの話しを聞くことから取り組んで行きたいと思います。		
3. 理念を实践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 外部評価の実施により良い意味での意識の向上に繋がっていると思われます。また評価の問題点に関して職員会でも積極的に取り上げ、その改善方法を話し合い迅速に対応しています。  (外部評価) 運営者、ホーム長、管理者及び職員は評価の意義をよく理解している。全員で自己評価に取り組み、外部評価の改善項目については職員全員で取り組み、運営推進会議でも意見を聞いてサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に参加して下さる方々は、当ホームの報告やケアの取り組みに熱心に耳を傾けて下さり、また的確なアドバイスを頂いています。それを常に職員会でも話し合い、ケアの向上に向けて取り組んでいます。  (外部評価) 会議は外部評価の改善項目、虐待についてのアンケート、行事報告・予定などについて意見交換を行い、サービスの向上に活かしている。会議には利用者の家族、地域住民、町担当者の参加がある。また議事録はホームで自由に閲覧できるようにしている。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 二ヶ月に一度の市町村主催の連絡会に参加させて頂いたり、町の介護相談員の方の訪問受け入れも毎月行っています。  (外部評価) 2か月に1回、町主催のケアマネジャー連絡会に参加している。また、毎月町の介護相談員の訪問を受け入れており、利用者の話を聞いてもらい、相談にも応じてもらっている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 外部研修に参加したりと積極的に取り組んでいます。		現在制度を利用されている利用者がいらっしゃいます。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 外部研修会等の参加や内部研修やアンケート調査を実施し、防止に努めています。		H19年4月24日サービス向上研修会参加 「高齢者虐待」

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) ご家族には十分な説明、話し合いをし、納得して頂いていると思います。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 月に一度の市町村の相談員の方との話し合いの中で利用者の希望や不満を聞き出して頂いたり、スタッフと個人的に会話を持つ事で利用者の思いをくみ取るよう心がけケアにあたっています。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 面会にこられた時には近況を報告したり、月に一度近況報告及び金銭面での詳細を送付しています。  (外部評価) 毎月の請求書と共に利用者の日々の暮らしぶりを家族に送っている。また家族の訪問時に話をしたり、状況に応じて電話連絡も行っている。またホーム便りを発行し、ホームの様子や行事等を伝えている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 当ホーム内での苦情委員会の設置をご家族に明示し、ケア方針の説明等も個別に行う機会を設け、その中で意見交換するようにしています。  (外部評価) 重要事項説明書にホームの苦情申立先を明記しており、苦情処理のために講ずる措置の概要を明示している。また家族の意見は訪問時に聞いたり、運営推進会議でも意見を出してもらっている。	※	家族が意見、不満、苦情を第三者へも伝えることができるように公的窓口の記載を望みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会で意見や提案を聞く機会を作ったり、運営者と年に一度の個別面談を行う中で多くの意見を取り上げ、反映出来るよう努めています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) ホーム長及び管理者が毎日フリーで動き、緊急時にも対応出来るようにしています。また外出時や行事に合わせてパート職員の確保をしています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 配慮には努めていると思いますので今の所利用者へのダメージは無いように思います。  (外部評価) 職員はユニット内で固定になっており、今のところ職員の異動はない。散歩や行事への参加などは、両ユニットの職員一緒に出かけるため、利用者とは顔馴染みになっている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 一階に同じ  (外部評価) 職員の休憩室に研修会の案内が置いてあり、職員は希望を出して参加している。研修費用は運営者が負担している。参加した職員は研修内容をミーティングなどで伝え、共有することでサービスの質の向上につなげている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 一階に同じ  (外部評価) 町内のグループホームとの交流があり、研修会に参加したりお互いに研修しあっている。また松山市のケアマネジャーの研修会にも参加し、同業者との交流をはかり、サービスの向上につなげている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 一階に同じ		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 一階に同じ		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 出来る限り本人との面接を行い、利用されるまでにも話を傾聴したり、コミュニケーションをとれるよう努めています。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) ご家族とも面接時や契約時十分な話し合いを行い、意向等を確認しながらケアの方向性を決めて、説明にあたるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 十分なアセスメントを行い本人の現状を把握するとともに、自立支援に向けてのさまざまなサービス案を検討しています。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人との十分なコミュニケーションのもとにその意向を説明させて頂き、納得して利用して頂けるようお茶の時間を一緒に他の利用者と一緒に過ごす機会を作ったり、体験宿泊して頂く等、工夫しています。  (外部評価) 本人や家族がホームに来られる場合には来てもらい、ホームでの生活を見てもらったり、過ごしてもらおうようにしている。また入院中の人にはホームから訪問している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 常に利用者の傍らに寄り添いながらも、共に生活している仲間という意識で、家事やその他それぞれが出来る事を一緒にしながら、昔の風習等を教えて頂く事もあります。  (外部評価) 日々共に過ごしながら利用者の話を聞いたり、職員の話を聞いてもらったりしている。食事を一緒に作りながら下ごしらえや調理方法を教えてもらったり、ケアをするだけでなく利用者の豊かな経験を教わることで、共に支えあう関係づくりをしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族の面会の時には、食事介助や散歩等を一緒に手伝って頂いたり、外出レクも出来る限り一緒に過ごして頂けるよう連絡しお誘いしています。		今後も家族と過ごす時間を増やして行けるよう、外出や行事計画を進めていきたいと思っております。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人との会話の中で、家族に対する気持ち等を読み取るとともに、ご家族とも十分に話し合い、認知症ケアに対する理解と協力をして頂けるよう、常に職員及び管理者、ケアマネージャーが橋渡しになっています。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者のお友達等馴染みの方が面会にこられた時には、意思疎通の難しい方には、職員が会話の橋渡しをしたり支援をしています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 皆で一つのテーブルに集まって話をする機会を作り、職員が橋渡しする事で、普段あまりお話をされない方でも楽しく会話されたり、レクリエーション等に参加される事で利用者同士の関係を深めていると思います。	※	これからもレクリエーションの機会をより多く持ちたいと思います。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 地域密着型になって特に家族とも顔見知りの職員も増え、その後の状況も伺う事も出来たり、行事参加の案内等を送付したりもしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限り本人の希望に添えるよう、会話の中で把握するようにしています。今現在一人一人の日々の楽しみや役割は大切に出来ていると思いますが、ADLの個人差が大きい為、日によってはすぐに希望を叶える事は難しい事もあります。 <hr/> (外部評価) 日々の暮らしの中で話を聞いたり、言葉や顔色、行動などからも把握するようにしている。またカンファレンスでも意見を出し合い、本人の意向に沿うよう支援している。	※	仕事の効率アップに努め、本人の希望を叶えるために時間の余裕を作って行きたいと思います。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 家族面会時には出来るだけ多くの情報を頂けるように話し合いを十分に持ったり、また回想法等を取り入れる事で、本人からの意思や希望を引き出せるようなケアに取り組んでいます。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 健康管理表や個人別の介護記録等で日々の観察を記録し、それに目を通しながら、ケアカンファレンスでモニタリングや話し合いを行っています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 介護計画作成時には家族の希望も事前にお聞きし、常にスタッフ全員でこれまでの経過や問題点の話し合いを持ち、また医療的治療の必要な方には医療関係者との話し合いを持った上で計画案を作成しています。  (外部評価) 本人や家族の要望、職員の気づきや意見も入れ、ケアカンファレンスを行い、本人に合った介護計画を作成している。職員は介護計画に沿ってケアを行い、日々のケアについても一人ひとり記録している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 短期目標に合わせてモニタリングを行うとともに、随時状態変化に応じてケアカンファレンスを行い、新たな介護計画を作成しています。  (外部評価) 定期的な見直しを行い、評価も行っている。利用者の状態に合わせて随時の見直しを行い、ケアカンファレンスを行い、新しい介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個人別の介護記録や日誌への記録、情報交換ノートの活用により、スタッフ全員が目を通し情報共有しています。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 本人の要望や身体的状況に応じて多機能の分野で個別ケアに取り組んでいます。  (外部評価) かかりつけ医の受診及び通院リハビリ、美容院への送迎等を無料で行っている。緊急時に24時間対応可能な医療機関との連携が取れている。また家族の宿泊にも柔軟に対応している。		在宅マッサージやリハビリ通院の介助、衣料品や食料品の買い物に同行したり、また美容院への送迎等様々なニーズに対応しています。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 警察、消防、地域消防団の方には、日頃から災害時などの協力をお願いしています。また外出レクの際にはボランティアさんに協力して頂いています。防火訓練の実施や町の文化祭小学校の運動会への参加等を行っております。		春のお花見レクには毎年、4～5名のボランティアさんが参加して下さり、一緒にお弁当を食べながら楽しくお話をされています。
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネジャーやサービス事業者同士の交流は常にあるので、その体制は整っています。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営者やケアマネジャーが何度か訪問したり、運営推進委員としても来所して頂き、常に相談できる関係を作っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ホーム担当の主治医がいる為、本人及び家族に事前に説明し納得して入居して頂いていますが、長年のかかりつけ医がいる場合は主治医と相談しながら出来る限り本人の希望も大切にしています。  (外部評価) かかりつけ医との連携は取れている。受診の内容や医師の指示、検査の結果は個人の記録にも残されており職員も把握できている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医及び協力医療機関は心療内科や認知症専門のケアセンターも隣設されており、常に主治医や看護師との連絡や相談が取れるような関係でケアにあたっています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 協力医療機関の看護師は往診時、受診時には必ず同行して下さり、利用者の状態も把握して下さっています。また電話や面会での相談も、気軽に出来る関係を築いています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 協力医療機関は、24時間体制で入院等緊急を要する場合もバックアップして下さっており、また日常的にも情報交換や相談が出来るよう、電話連絡や訪問を行っています。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者の体調変化に対しては、早急に受診し主治医と相談の上、主治医、運営者、ご家族同席の元、ご家族に説明を行い、その意向や状態により対応しています。  (外部評価) ホームとして「重度化した場合における対応に係る指針」「看取りに関する指針」を定めている。利用者の状態変化に応じてかかりつけ医と相談し、家族に説明を行い、利用者や家族の意向に沿った対応をしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 常に主治医と相談の上、当ホームで出来る事に関しては、全力で取り組んでいます。		栄養不良の利用者に関しては、経口栄養食の摂取介助、また脱水予防には通院して、点滴施行を行っています。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他の施設に移り住む際には、多施設の担当者と何度か話し合いの時間を持ったり、ご家族とも十分に話し合いを持って対応するようにしています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 常に利用者の気持ちを考えながら、その人その人にあつた言葉かけや対応を心がけています。個人の記録もイニシャルを使う等、配慮しています。  (外部評価) 利用者に対して同じ目線で対応しており、共に暮らしている雰囲気が伝わり自然な感じである。食後の歯磨きやトイレ誘導もさりげなく行われている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者に合わせた声かけを行い、促しをする時も本人に確認を取ったり、また本人が自分自身で行動できるような場面設定を工夫しています。		家事手伝いを促す時には、お願いする声かけをするばかりではなく、本人の意思で行動できる場面設定を心がけています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の性格にあった、本人が出来る事を見い出して促しを行います、無理強いをしないように心がけています。また食事や入浴以外の空き時間は、出来る限り本人のペースや希望を尊重しています。 <hr/> (外部評価) 職員は利用者一人ひとりについて把握し、日々の体調にも気をつけ、食事のペースも本人に合わせて見守っており、それぞれの生活のペースを大切にしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 自分で選べる方には本人に任せたり、毎日一緒に洋服選びをしたりと工夫し支援しています。髭剃りや整髪 の支援をしたり、理容・美容は希望があれば送迎もしますが、特に希望が無い場合は訪問美容を利用しています。ご家族と外出・外泊の際に美容院を利用される方もおられます。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 献立を一緒に考えたり、野菜切りや洗い物も手伝って頂いています。また盛り付けにも気を配り、同じ食卓に職員が必ず座り、会話を楽しみながら支援しています。 <hr/> (外部評価) 手伝える人は職員と一緒に楽しみながら食事作りをしている。介助が必要な人には横に座りさりげなくサポートしながら、職員も利用者と一緒に食事している。また後片付けも食器を洗う人、テーブルを拭く人等分担して行っている。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) ご自分の居室で好きな物を飲食されたり、コーヒーや紅茶等本人の好みの物を提供するようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄チェック表で一人一人の排泄パターンを把握し、失禁をなくすようトイレ誘導しています。	※	数名リハビリパンツやパット使用を布パンツやパットなしに変える事が出来ていますが、これからも失禁等をなくし、トイレで気持ちよく排泄出来るよう、支援強化に努めたいと思います。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 設備上の問題から曜日や時間帯は決まっていますが、入浴の順番等はその日の気分や体調により配慮し、くつろいで入浴出来るよう努めています。  (外部評価) 入浴時間は午後からとなっているが、入る順番は利用者の希望にあわせている。入りたがらない利用者には、時間を置いてから言葉かけや対応を工夫して、本人が納得してから入浴してもらっている。	※	音楽を流したり、植物を置く等工夫したいと思います。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 室内温度、明るさ等に気を配り、個々に合わせた睡眠が取れる様、夜間の見廻りも徹底しています。		眠れない方にはお茶をお出ししたり、話し相手になる事で安心して眠れるよう支援しています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 生活歴を活かし機能、能力に応じて本人の出来る事をして頂き、今ではそれぞれに役割ができており、外気浴や家事、新聞とりと毎日楽しく過ごせるよう支援しています。  (外部評価) 食事作り、掃除、洗濯物干しなどを職員と一緒にしたり、手作りカレンダーの日めくりや行事予定を書いたり、新聞を取ってきてもらったりと利用者ごとに可能な役割を担ってもらっている。また、習字教室や誕生会、敬老会なども楽しみのひとつであり、ボランティアも受け入れている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の自己管理能力の問題で、ご家族と相談、了承の上で事務所預かりとさせて頂いている方が多いですが、希望により、買い物時、外出レク時等は本人にお金をお渡ししたり、立替の小遣いを持って頂き買い物をして頂いています。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 地域の学校の運動会や地区行事の案内を見て頂き参加希望者を募ったり、外気浴や散歩に出かけたり、希望によりドライブや喫茶店、買い物に出かける等の選択ができるような働きかけをしています。  (外部評価) 日々の暮らしの中で希望に応じて買い物や散歩によく出かけている。また地域行事に参加したり、家庭菜園や近くの喫茶店に行ったりと外出の機会をつくっている。外には手作りのベンチが置かれており、利用者は外気浴を楽しむなどのんびりできるよう配慮している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 墓参りに出かけたと言われた利用者には家族と連絡を取り支援して頂いたり、利用者さんが住み慣れた地域の地域行事に同行して、ご家族にも参加して頂き交流を持って頂けるようにしています。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人からの電話使用の要望はあまりありませんが、希望に応じてホームの電話で取り次ぎ支援を行っています。 手紙等の取次ぎや、暑中見舞いや年賀はがきを出したり等の意欲を引き出せるよう支援しています。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 玄関は開放的で家庭的な雰囲気作りに努め、いつでも出入りが出来ます。また訪問の際には好きな場所で過ごして頂けるよう娛樂室も完備し、宿泊もして頂けるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 施設内研修にて資料の配布やアンケート調査を実施し、意識を高めるよう徹底して取り組んでいます。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関、ホール入り口共に、日中、鍵をかけずドアの開閉の際にはチャイムが鳴る様にしており、スタッフの出入りには必ず声かけをし、常に利用者の居場所確認をしています。  (外部評価) 利用者の自由な暮らしを大切にし、玄関及びユニットの出入り口はいつでも出入りできるようになっていて、鍵はかけられていない。ドアの開閉時にはチャイムが鳴るようになっているが、職員の見守りで十分対応できている。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間の声かけや見守りを徹底し、安全確保に努めています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 自立度に応じて鋏や爪切り等の物品を所持されていますが、その他貸し出した物品に関しては、必ず職員間で引継ぎ回収するようにしています。また洗面台等の洗剤等はそれぞれ使用される場所が決まっている為、スタッフ全員が把握し見守りの中で置く場所を決めています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員間で確認をとり、事故報告書やひやりハットなどのノート及び書類にて全ての職員が共有し、改善防止に努めています。		常に居場所確認、見守り介助を怠らず、誤薬等には職員間の再チェックをし投棄しています。また町の消防署の協力で火災訓練も行っています。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 定期的ではありませんが、年に1、2回施設内研修を行ったり、外部研修の参加を実施しています。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年に一度、消防署に協力して頂き防災訓練や非難訓練を行っています。また地域消防団、地区役員、ご近所の方への協力も常にお願ひしています。  (外部評価) 年1回消防署の協力を得て防災訓練及び避難訓練を実施しており、消防署には直通で連絡できるようになっている。緊急時の連絡方法も掲示している。また地域の協力を得られるよう働きかけている。	※	地域の協力を得られるよう働きかけているので、今後は地域住民の参加や協力を得た訓練や、地域住民を含めた緊急連絡網及び災害対応のマニュアルの作成を望みたい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 入所時は状態に応じてご家族に説明する機会を持ち、了承を得ています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝夕のバイタルチェック、入浴時、トイレ時等の全身観察、異変の早期発見に努め、記録や申し送りにて情報を共有しています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人別の薬管理表をファイルして職員全員が目を通すようにしています。また服薬の状態を記録したり、引継ぎしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 食事以外にもヨーグルトの摂取や水分補給にも留意しています。また腹部マッサージや体操、散歩等の促しに取り組んでいます。		水分不足に注意し、献立には必ず汁物をつけたり果物や野菜ジュース等も取り入れるよう心がけています。
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、能力に応じて見守り、介助しています。週一回義歯洗浄を行い、また舌のケアも声かけ、介助により行っています。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人一人の状態に応じ、量や形状を工夫し、水分補給をこまめに行っています。また栄養補助食品の摂取も調整しています。  (外部評価) 献立は栄養バランス及び水分量を考慮している。調理方法も利用者に合わせて刻み食、とろみ食など工夫している。食事摂取量を記録し、水分量は職員が常に気をつけて不足がないよう配慮している。体重も折れ線グラフにして把握している。糖尿病等の利用者については医師の指導を受けている。	※	今後摂取カロリーや栄養バランスのチェックを行う予定である。
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 年に一度、保健所で行う感染症予防対策研修に参加するとともに、その資料を回覧したり、施設内研修を行って意識改革しています。また利用者に嘔吐等が見られた場合、衣類の洗濯は消毒後行うようにしています。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 買物は毎日出かけ、新鮮な物を使うようにしており、残った食材を冷凍する場合は、日にちを記入し早めに使い切るようにしています。また台所用品（組板、ふきん等）は毎日、塩素系消毒しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関は格子の引き戸になっており、その周りには季節の草花や家庭菜園等も植えたりと施設を感じさせない家庭的な作りになっています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 台所は居間と続く対面キッチンになっており、食事支度の音や香りも利用者に届くようになっており、居間の窓からは庭が見え、季節感を味わえます。また廊下やトイレも間接照明で優しい光を取り入れています。  (外部評価) 玄関や居間には季節を感じる装飾が自然に飾られている。居間は明るく、利用者の書が飾られ、畳のスペース、ソファも配置され、利用者は自分の思い思いの場所で過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファや長椅子を配置し、畳敷きのコーナーもあり、思い思いの場所で過ごされています。冬場にはコタツを囲み数人で談話されたり等の光景も見られます。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 箆笥や冷蔵庫、テレビ等それぞれが思いの物を持ち込まれ、各部屋毎に個性があると思います。  (外部評価) 居室のドアには利用者に合わせた職員手作りの名札がかけられている。居室内は家庭で使用していたタンスや愛用品、趣味の物、写真、利用者によっては仏壇などが持ち込まれ、その人らしい居室となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 毎日、日中何度か換気に努め温度調節もこまめに行っています。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	(自己評価) 脱衣場、浴槽内、トイレ廊下等に手摺を設置したり、物干しや便座は入居者の背の高さに調節したり、各所に休憩の椅子を配置し、個々の身体状況に合わせたケアに努めています。また浴槽も機能に合わせた一般浴とリフト浴の2種類あります。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室の表札やトイレの表示など個々の自立度、見当識にも配慮し、季節感を感じれる工夫をしています。		目の見えにくい方には反転文字を使用した表札を使用したり、見当識に配慮して、日めくりを声かけにて日課にして頂いたり、草花や装飾品で季節感を出しています。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 屋外の庭には何ヶ所かに縁台や椅子を配置し、外気浴を楽しんだり草花を育てたりされています。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらい 評価) 3 利用者の1/3くらい 4 ほとんど掴んでいない	普段の会話の中やアセスメントからその意向をくみ取り、一人一人の役割や生活習慣を大切にケアに取り組んでいます。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	外気浴、レクリエーション等で楽しく過ごせる時間を提供できるよう努めています。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事時間、排泄時間、睡眠時間と個々に違い、利用者のペースに合わせて対応しています。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分で考え行動できる利用者が増えたり、毎日笑い声が聞こえたり、笑顔で過ごされている事が多いように思います。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の体調や状況に応じて、全ての希望にそう事が出来ない日もありますが、出来るだけ買物や季節の行事等外出の機会も作っています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	毎日のバイタルチェック、体調変化に留意し、毎月の往診の他に必要に応じて通院し、医療との連携もとれています。また歩行時、立ち上がり時等の見守りにも留意し、常に居場所確認、安全確認に努めています。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の思いを大切にし、時には話しを傾聴したり時には声かけしたりその状況に応じて対応しています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 2 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会にこられた時には、会話を通じて思いをくみとると共に、ケアの方向性を説明し納得して頂いたり、利用者の日常の様子をお話ししたりする時間を作っている為、ご家族の面会の際には気軽に声をかけて頂いています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 2 数日に1回程度 評価) ③ たまに 4 ほとんどない	月に数回、習字教室、朗読レク、地域の子供会他ボランティアの方が来て下さっています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	毎回、会議の議題にも熱心な意見を下さり、また運営推進会議の委員の方の中に地区子供会のお世話役をされている方もいることから、子供会の訪問等も増えています。
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の入れ替わりも少なく長期働かれている職員が増え、コミュニケーションがよくとれ笑顔で仕事している事が多いと思います。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔で過ごされる事が多くなり、中には「良くして貰って」とか「私は幸せ」等の言葉を口にして下さいます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	今の所ご家族からの苦情はなく、健康面でも「元気になって安心しました」とか「顔つきが良くなっています」等の言葉を頂けています。

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

健康管理全般 ・状態に合わせた排便観察を行い、出来るだけ薬に頼らず自然排便を促すよう、水分補給や腹部マッサージ、腸蠕動運動を促す体操等に取り組むと共に

日頃から散歩や日光浴、食べ物にも留意しています。

・体調に合わせ、足浴、マッサージ、立位・歩行訓練、筋力低下防止、可動域訓練にも力を入れ取り組んでいます。

・感染症予防として、食事前の手洗い・手指消毒の徹底、口腔ケアにも力を入れています。